

備前市施策評価シート

(平成22年度事業)

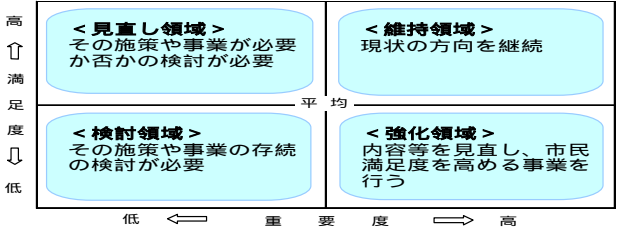
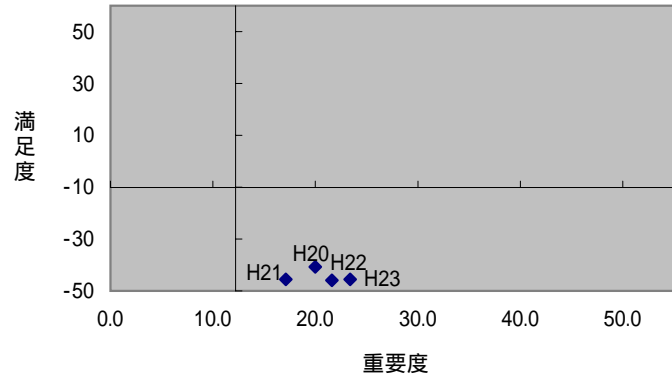
施策名 (小項目)	商業	コード	作成者	役職	商工観光課長
		04-02-02	氏名	中島 和久	
			電話	64-1832	
		このシート作成に要した時間		2.5 時間	

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	基本目標(大項目)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	基本施策(中項目)	企業と創造が支えるまちづくり
対象と目的 (誰のために、何のために)	市内商店街、商業者グループ等が活力を養うことは、地域住民が集い賑わいの町となる。また、東備地域の拠点都市としての発展を図り、市民生活を豊かにしていくことを目的とする。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	顧客ニーズの多様化や後継者不足、さらには郊外型大型店の進出により、商業は停滞傾向となっている。特に、消費者の自家用車利用が定着したため、駐車場不足に欠ける従来型の商店街は、来客頻度が低下している。このため、商店街の衰退が著しく、閉店や空き店舗が目立ち地域社会の形成にも悪影響を及ぼしている。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	商店の体質強化 資金・就労支援	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H20	H21	H22	H23
重要度(%)	20.0	17.1	21.6	23.4
満足度(%)	- 40.8	- 45.5	- 45.9	- 45.6



調査結果に対するコメント、市民の反応等
 [調査対象でない施策は、市民の反応等]
 市の中心市街地である片上商店街については、アルファビゼンの閉鎖以来衰退が著しく、閉店や空き店舗が目立つ状態となっている。特に、吉永地域、三石地域では、商業施設が少ないことから、商業施設の充実を求める意見が多く、市内全域においても、商業の活性化を求める声が多い。商業施設は、市民生活に直結した問題であることから、商工会議所等関係団体と連携を図りながら充実に努める。

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H20	H21	H22		H23	H28
成果指標 地域振興活性化事業イベント開催による来場者数	目標	千人	124	124	74	H23	74
	実績	千人	118	107	85	H28	74
	達成率	%	95.2	86.3	114.9	-	-
	ベンチマーク						
参考指標 片上商店街営業店舗数	目標	店	48	48	48	H23	48
	実績	店	34	34	33	H28	48
	達成率	%	70.8	70.8	68.8	-	-
	ベンチマーク						
参考指標 商工会議所及び商工会1人当たりの補助金額	目標	円	14,000	14,000	14,000	H23	14,000
	実績	円	14,080	21,608	14,127	H28	14,000
	達成率	%	100.6	154.3	100.9	-	-
	ベンチマーク						
参考指標	目標					H23	
	実績					H28	
	達成率	%				-	-
	ベンチマーク						

施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)										施策への貢献度			
				平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度				
				直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数	当初予算 (直接事業費)				
1 商業振興事業	C	岡山県経済交流協会会費	単市	50	0	0.00										* H20終了	
		商業振興対策補助事業	単市	202	399	0.04	121	228	0.03	111	0	0.00	138				
		全国菓子博覧会補助金	単市	30	0	0.00										* H20終了	
2 地域振興活性化事業	C	備前まつり事業	単市	2,100	3,357	0.41	2,100	3,747	0.52	2,100	2,651	0.30	2,100				
		ひなせ港祭り事業	単市	2,100	2,621	0.37	2,100	2,779	0.35	2,100	3,150	0.39	2,100				
		まぼろばウォーク事業	単市	700	1,184	0.18	0	52	0.01							* H21終了	
		サマーフェスティバル補助事業	単市	700	58	0.01	700	23	0.00	700	0	0.00	700				
		地域まつり補助事業	単市	967	116	0.02	378	557	0.06	252	0	0.00	252				
		シーファンタジーイルミネーション業務	単市				47	99	0.01	46	100	0.01					
		ぼんぼり取付業務	単市	55	0	0.04	10	99	0.01	8	100	0.01		116			
3 商業団体支援事業	C	備前商工会議所補助事業	単市	9,300	307	0.03	19,776	493	0.06	8,800	0	0.00	8,800				
		備前東商工会補助事業	単市	12,800	107	0.01	12,800	180	0.02	12,800	0	0.00	12,400				
		地域産業資源活用事業	単市	0	0	0.00	0	233	0.03	0	0	0.00	0				
		商工会議所法関係事務	法定	0	0	0.00	0	32	0.00	0	0	0.00	0			* 法定事務	
4 資金・就労支援事業	B	就労支援・緊急雇用対策事業	補助	0	464	0.05	1,951	1,186	0.12	14,011	532	0.05	14,011				
				この施策に費やした資源(単位:千円,人)													
				平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度				
				29,004	8,613	1.16	39,983	9,708	1.22	40,928	6,533	0.76	40,617				

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
備前市	商工会議所、商工会等関係団体との連携	関係団体との情報交換、協力体制の確立
備前市	企業誘致奨励金事業	雇用の拡大、企業の進出への支援

施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)	
<成果指標の妥当性> 1 施策の目的・成果を表現しているか?	3	商店街や地域の活性化のためのイベントや商業団体の事業運営費の対する補助等であり、成果指標の地域振興活性化事業イベント開催による来場者数は概ね妥当である。	
<事業構成の妥当性> 2 手段は最適か?	3	地域振興活性化のためのイベントや商工会議所、商工会の事業運営費に対する支援策として、事業構成はほぼ適正である。	
<施策の有効性> 3 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	厳しい経済不況の中で、イベント補助等を適宜行っており、地域の活性化や商業振興の一助となっている。	
進行年度(H23年度)の取組内容(課題解決状況)		商工会議所、商工会等との連携を密にイベント開催など商店街の活性化に向けた支援を図る。イベントの実施について、各実行委員会で十分協議し、充実したイベント開催に努める。また、緊急雇用対策事業の取り組みを検討し、雇用創出を図る。	
翌年度(H24年度)の取組目標		商工会議所、商工会等との連携を密にし、イベントの開催等で地域の活性化に向けての支援を行う。	
二次評価者コメント		役職 産業部長 氏名 竹林 幸一 商工会議所、商工会との連携により支援を進めているが、大型店の進出などにより地元商店は厳しい状況が続いている。今後も地域特性を活かした創意工夫が不可欠であり、地域活性化事業等による継続的な振興策に努めてください。	
		基本施策への貢献度 3 中立	